

▶桜の季節が終わりを告げ、もえぎ色の新緑が目には鮮やかな季節となりました。それと共に、町内各地で1番茶の摘採がスタート。1年で一番活気があふれる季節を迎えています。本号で特集した農地・水・環境保全向上対策事業。各団体の会長さんもお茶で忙しい中、無理を言って時間をつくってもらい、取材に応じていただきました。ありがとうございました。本特集を通して、この事業の輪が町全域に広がってほしいと願っています。

▶町民の皆さんから、たくさんの記事提供、記事紹介をいただきます。ありがとうございます。まだ取材に行けていないのもたくさん…。本当にすみません。時間を工面して、また皆さんの元に伺います。その時は、ご協力をお願いします。

▶先日、県広報協会主催の研修会に参加しました。講師は全国的に有名な現役広報担当者。わたしが尊敬している人の一人です。伝わる文章の書き方や写真撮影技術、広報紙にかけける情熱など、たくさんのお話を教わりました。同時に、まだまだ未熟な自分を痛感。その人のようにはなれないけれども、自分にできる精一杯のことをやっつけていこうと思いました。



▶毎号、「ありがとう」の気持ちを込めて作る広報紙。皆さんの元に、その気持ちまで伝わればうれしいです。 小笠原聡

afterword

お誕生おめでとう

| 地区  | 氏名     | 性別 | 保護者 |
|-----|--------|----|-----|
| 高郷  | 森下 ころな | 女  | 勝平  |
| 久野脇 | 坂本 心優  | 女  | 裕介  |
| 地名  | 福門 葵芭  | 女  | 雅之  |
| 徳山  | 吉川 陽登  | 男  | 正記  |

ご結婚おめでとう

| 地区 | 氏名     | 前住所 |
|----|--------|-----|
| 藤川 | 小田 実   | 藤川  |
|    | 望月 万里子 | 富士市 |

おくやみ申し上げます

| 地区  | 氏名     | 享年 | 届出人 |
|-----|--------|----|-----|
| 千頭東 | 安竹 八重子 | 74 | 安 聡 |
| 田代  | 伊藤 榮二  | 85 | 英 夫 |
| 水川  | 大西 林平  | 93 | 美 子 |
| 高郷  | 橋本 昭   | 70 | 達 巳 |
| 下長尾 | 小澤 俊夫  | 85 | 岩 男 |
| 瀬平  | 川畑 祐一  | 82 | 弘 和 |
| 久保尾 | 吉平 君代  | 80 | 時 彦 |
| 久野脇 | 鳥居 徳夫  | 79 | 薫   |
| 徳山  | 福門 江   | 94 | 薫   |
| 徳山  | 原 田 猛  | 79 | 富雄  |

■戸籍欄に掲載を希望されない場合は、届出時に窓口でお伝えください。  
■前々月に届け出された出生・婚姻・死亡の届け出の内、本町に住所があり本町の窓口（本庁・総合支所）で受け付けた分のみ掲載しています。  
生活健康課 ☎ (56) 2222

family registration

www.town.kawanehon.shizuoka.jp

あなたの知らない川根本町がここに

くらしの情報、行事紹介、まちの話題が満載。町ホームページは、あなたの訪問をお待ちしています。川根本町の今を知るなら「川根本町ホームページ」。

未来に向かう力をはぐくむ川高生

川根高等学校副校長 浅川典善

column

「『山笑う』とは、こんな情景を切り取る季節だったのか」。赴任前の引き継ぎに訪れたときの感動です。  
雨に洗われ、かすみに垣間見る新緑、山桜、そしてお茶畑のうねり。山全体が躍動しているように見えたのです。俳句には縁遠いのですが、この季節を詠み込んできた人々の「こころ」を、初めて感じることができました。

この思いは「川根高校の生徒たちは、恵まれてるな」という感慨につながっていききました。なぜなら、これだけ美しい里山、言い換えれば、手間と愛情がかけられた環境にいるのだから。往々にしてわたしたちは、自然を自分たちの外にある客観的な環境だと考えてしまいます。しかし本来の自然は厳しく、荒ぶる「ジネン（自然）」で、手を入れなくてはならないものでした。だから時間をかけ、働きかけ、自らの中に共存させてきたのだと思います。



後日、あらためて休日に学校に来ました。学校の周囲も町のどこかしこも、樹木が植えられ、きれいに整えられていました。その心意気を頼もしく感じると共に、引き継ぎに来た時の思いもより確かになっていきました。  
さて、赴任して1カ月。川高生たちの印象を拾ってみます。先日の朝礼で生徒たちにも伝えたところですが、3年生が、黙々と朝読書に向かう姿勢に感心したこと。2年生の授業のなかでの聞き合い、教え合う姿をうれしく思ったこと。そして1年生の宿泊訓練では、話し合いの場をしっかりとつくり、自分の意見も理由を合わせて述べていることに驚いたことなどです。話し合う、聞き合うといった関係を、つくり上げるのは、なかなか難しいもの。それができるのは、連携型の中高一貫、それも少人数の学校だからこそ自然と形成され、それと対照的な「自分と向き合う時間」となる読書も整然とできています。

◀連携型の中高一貫、そして少人数の学校だからこそ密な関係を築くことができると述べる浅川典善副校長

眼科患者さん無料送迎いたします。

ご近所から、当院まで送迎車にて無料送迎いたします。  
ご予約は電話にてお願いします。  
(当院に初めて受診される方もご利用いただけます)

島田眼科クリニック

住所：島田市日之出町3-9  
島田駅から徒歩1分  
☎0547-37-0431  
診療時間：午前9時～12時、午後2時～6時  
(休診日：水曜、第2・第4日曜日、祝日)